

【可視光半導体レーザー応用コンソーシアム&NPO 法人光科学アライアンス 主催】  
「解説！レーザー照明・ディスプレイセミナー」が開催されました

■開催日：2016年10月4日（火）13時～17時

■場所：森戸記念館第1フォーラム（東京都新宿区神楽坂4-2-2）

■要約：可視光半導体レーザー応用コンソーシアムとNPO法人光科学アライアンスが主催した「解説！レーザー照明・ディスプレイセミナー」が以下のように開催された。  
講師4名から話があり、40名近い参加者で賑わった。以下にそれぞれの概要を示す。

■プログラム：

1. 13:00～13:50 講義：注目すべきレーザーディスプレイ技術と応用

大阪大学光科学センター 山本 和久

ヘッドアップディスプレイ、プロジェクタ、TVを含めたレーザーディスプレイについて紹介があった。民生用レーザーTVに続いて、超小型の携帯プロジェクタ、高輝度データプロジェクタ、ヘッドアップディスプレイが商品化された。極めて広い色再現範囲を持つだけでなく、超小型および高効率化により超低消費電力化もねえらえるという特徴もあり商品化が急加速している。

2. 14:00～14:50 講義：良くわかるレーザー照明

大阪大学光科学センター 木下 順一

自動車ヘッドライトを含めたレーザー照明の基礎、および応用について解説があった。レーザー照明としてはレーザーヘッドライト、情報表示照明も実用化された。黄色LDができれば、蛍光体を用いずに高演色性を有する照明ができる。

3. 15:00～15:50 講義：スペックルノイズとは何か？

宇都宮大学 黒田 和男

レーザー照明・ディスプレイ応用に対して課題となるスペックルノイズの発生原理および対策について解説があった。レーザー光はコヒーレンシイがあり、スクリーン表面の凹凸を感じ、目の中で明暗の縞模様となる。対策としては、波長を広げる、拡散版などで角度を変える、スクリーンを振動させるなどがある。

4. 16:00～16:40 講義：レーザー照明・ディスプレイ応用市場動向及び予測

株式会社日本・社会システムラボラトリー 足立 吉弘

ヘッドライト、プロジェクタ、HMD、レーザーTVを中心とした応用市場動向について述べられた。またレーザーを用いた機器市場の予測についての話があった。

